

# どう活かされた132億円

## 18年度決算を審議、認定

9月定例会は、9月5日から12日まで8日間の会期で開かれました。一般質問（10頁〜19頁に掲載）には9人が登壇し、住民協働や防災対策、学校給食など幅広く町政について質問。総額132億円を超える一般会計と特別会計の平成18年度決算認定案は決算特別委員会の集中審議の結果、すべて認定されました。そのほか、山田町上水道施設と馬指野簡易水道施設の統合に伴う条例の整備や平成19年度一般会計補正予算などが提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決し、8日間の会期を閉じました。

### 来年4月1日から

### 馬指野簡易水道を上水道に統合

営の効率化を図るため馬指野簡易水道を上水道に統合しようとするものです。これにより維持補修などに要していた年間160万円のコスト削減が見込まれます。

馬指野簡易水道施設を平成20年度から上水道施設に統合するため、関係条例の整備に関する条例が提案され、可決されました。

馬指野簡易水道施設は、国・県の補助を受け昭和60年9月1日から供用開始し

た施設で、対象地区は織笠21地割から23地割となっております。

本町では、平成18年度から平成20年度までの3年計画で水道施設第11次拡張改良計画を実施していますが、この事業の一環として、経

水道管接続のための工事は、馬指野橋への水道管添架が必要となるため、昨年12月の大雨災害で沈下した馬指野橋の改修完了後から本格的に開始されます。供用開始は来年4月1日からとなります。

地域に根ざした伝統芸能が山田の秋まつりを盛り上げました（八幡鹿舞）

